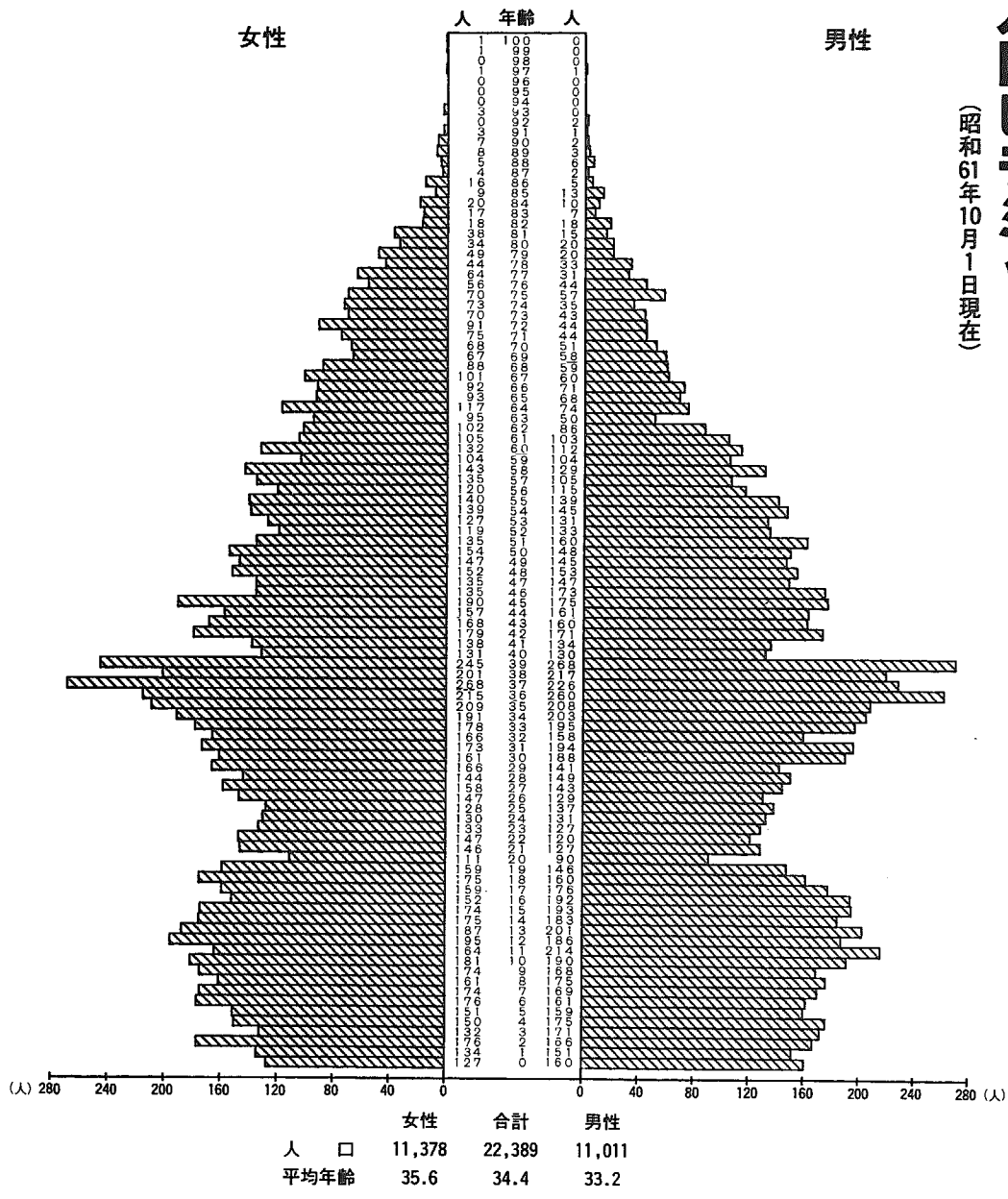


人口ピラミッド

(昭和61年10月1日現在)



住民福祉課では昭和61年10月1日現在の黒埼町の人口ピラミッドを作成しました(右表)。人口は2万2389人、うち男性が1万1011人、女性が1万1378人、郡内他町村と比べ、男性の占める割合(49・2%)が低いのが特長です。年齢別では高齢人口(65歳以上)が2379人(男性1093人、女性1286人)で全人口の10・6%です。ほぼ全国平均値。また、20代の若者が少ないことが目につきます。

福祉の柱にボランティアを

地域福祉・在宅福祉サービス事業



福祉関係者が集まり第1回推進委員会を開いた

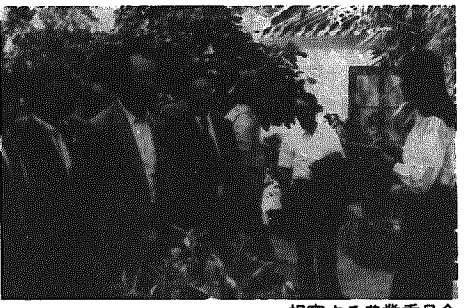
社会福祉協議会では今年度から「地域福祉・在宅福祉サービス推進事業」を始めます。これは福祉の増進の一つの方法として、地域での助け合いを今以上に進めようというもので、ボランティアを育成し組織を作り、日常の生活の中でより身近で将来も長続きするボランティア活動を実施することが目的です。この背景には高齢化社会の到来、福祉の見直しがあります。事業の実施のため推進委員会が作られ、第1回の会議が10月13日、役場でありました。委員会の構成は社会福祉協議会、役場(住民福祉課)、県の福祉事務所、巻保健所、町内

ボランティアグループ、老人クラブ、福祉関係団体、民生委員、婦人会などです。会長には民生委員の大橋憲司さんが選ばれました。会議では、現在の福祉の問題点、事業の計画、ボランティアの課題などが話し合われ、福祉をボランティアが肩代わりする事業にならないようにするという意見が出ました。予定では次の事業を行います。①ボランティア研修、②先進地の視察、③ボランティア広報の発行、④アンケート調査、⑤家庭看護講座(実施中)⑥老人給食サービス(実施中)ほかです。在宅福祉サービスはお年寄りや体の不自由

町の動き

由なかななどを対象にボランティアで、①介助サービス、②家事サービス、③その他日常生活の補助、をしようというものです。事業の予算は今年度が200万円(町100万円、県の補助100万円)です。

農業委員会(台枝勝蔵会長)が10月5日から10日まで中国を訪れてきました。これは、中国文化を研修し、人民公社など集団農場を視察し、変わりゆく中国の姿を見ることが日中友好を深めることが目的です。訪中団は戸枝会長ほか農業



視察する農業委員会

「税の標語」決まる

税務課では毎年「税の標語」を黒崎中学校の三年生から募集しています。今年は左記の金銀銅賞をはじめ十三編を選びました。表彰は10月20日に黒崎中朝礼式で行いました。○金賞 税金に父母の汗が光っている 佐藤欣子(4組) ○銀賞 さあつくろう福祉の社会を税金で 鈴木慎(9組) ○銅賞 納税で豊かに実る我

- 9月
- ▶9月2日選挙管理委員会調査
 - ▶10日町内7か所で交通量調査(総務課)
 - ▶9日交通安全対策会議(総務課)
 - ▶10日黒埼祭り写真コンクール審査会(商工振興課)
 - ▶議会・高速交通特別委員会
 - ▶12日(～20日)9月定例議会
 - ▶15日敬老会
 - ▶22日財務会計システム説明会(総務課)
 - ▶24日工場指定審査委員会(商工振興課)
 - ▶日報政経懇談会に町長出席
 - ▶26日遺族会会議(住民福祉課)
 - ▶町村会定例会、郡議長会自治懇談会
 - ▶27日入札(総務課)チャリティショー
 - ▶29～30日信濃川中の口川治水事業促進期成同盟会(東京)に町長出席
 - ▶30日農業委員会

入札結果から

工事名	工事業者	請負額	入札日	完工期限
町道鳥原寺地線用地丈量測量委託	物新測量設計社	2,100千円	8月6日	昭和61年12月13日
町道善久保有線線改良工事	株 志賀組	2,500	8月6日	昭和61年10月14日
町道立仏17号線改良舗装工事	株 志賀組	2,000	8月6日	昭和61年10月4日
町道物作4号及山出4号線改良舗装工事	株 志賀組	3,800	8月6日	昭和61年10月29日
町道鳥原前川原1号線舗装工事	株 加賀田組	1,600	8月6日	昭和61年9月14日
町道鳥原5号線舗装工事	株 志賀組	1,500	8月6日	昭和61年9月14日

交通量調査を実施

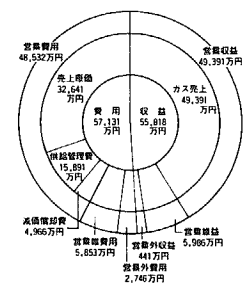


町では毎年交通量調査を実施しています。今年も総務課が中心になり、9月9日の午前7時から10日の同時刻まで24時間の調査。調査地点と交通量は、①大野新町519台、②消防署通り4610台、③流通センター出入口(立仏側)8083台、④寺尾小針線3505台、⑤流通センター出入口(緒立側)2988台、⑥広域農道付帯線3107台、⑦善久北場線7127台。

チャリティショーに4657人が

社会福祉協議会主催の社会福祉チャリティショーが9月27日、総合体育館で開かれました。昼の回に1738人、夜の回に2919人、合わせて4657人が入場し、森進一ショーを楽しみました。ショーに先立ち還元金が6団体に配分されました。ショーの会計内容は今後広報でお知らせします。

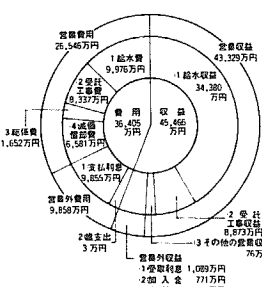
ガス



ガス事業会計は1313万円の赤字です。理由は修繕費、委託料、路面復旧費などが増え、費用が前年度より1221万円(2.2%)増加したのに対し、収益が516万円(1.1%)しか伸びなかったためです。供給戸数は5755戸、前年度より145戸(2.6%)増加し、供給量は1%の増。原料ガスの価格は56年度から据え置かれていますが、ガス管工事や保安などに多額の経費がかかり、今後も需用の伸びが期待できないため、厳しい状況です。

1313万円の赤字でたいへん厳しい状況

水道



水道事業会計は9062万円の黒字です。給水戸数は6443戸、給水量は約300万立方メートルで、前年度より17戸、2.7%増えました。これに伴い収益は3億4380万円と4%の増。費用で企業債利息や減価償却費などが増えたものの、経費削減に努め、黒字となりました。しかし、浄水場拡張工事などの企業債(借金)の残高が13億円以上あり、前年度から償還が始まっていますし、配水管の老朽化の改良工事を進めていかなければならないため、水道会計は厳しいのが実状です。

9062万円の黒字だが、借金が13億円

昭和60年度特別会計決算